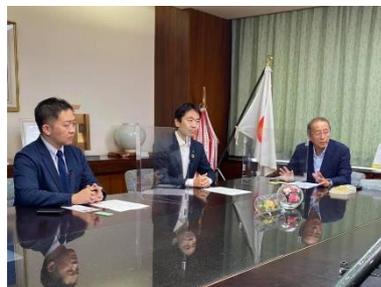


Bran Trust from The Sun



不動産特定共同事業商品説明資料

- 1 小規模不動産特定共同事業とは？
- 2 株式会社Brain Trust from The Sun による空家再生事業
- 3 古民家再生宿 琥珀 AMBER 神奈川県鎌倉市材木座6-4-4
- 4 古民家再生宿による小規模不動産特定共同事業一号事業(優先劣後方式)
- 5 琥珀 AMBER ファンド条件書
- 6 SDGsとESG投資



会社名	株式会社 Brain Trust from The Sun (ブレイントラストフロム ザ サン)	平成27年	東京都による高齢者職域開拓モデル事業に採択 東京都中央区京橋に創業支援設 BTS-OFFICEを開設。
代表取締役	大川桂一 宅地建物取引士／不動産コンサルティングマスター／一級ファイナンシャル・プランニング技能士	令和元年	農林水産省による農山漁村振興交付金(農漁村活性化対策整備)事業の鎌倉農泊協議会中核法人となる。
設立	2012(平成24)年8月1日	令和元年	国土交通省による「不動産証券化手法を活用したモデル事業形成に向けた支援事業」選定事業者 小規模不動産特定共同事業(特例事業)で杉並区和泉で老朽化アパートの建替えを行う。
本店	〒104-0031 東京都中央区京橋1-6-13 金葉ビルディング6/7F	令和2年	中小企業庁によるJAPN BRAND 育成支援事業に採択 SDGs対応農泊展開プロジェクトの代表企業となる。
資本金	12,000,000円		
業者登録	小規模不動産特定共同事業登録 金融庁長官・国土交通大臣(1)第1号		

空き家・古民家等の再生事業に地域の不動産事業者等が幅広く参入できるようにするため、2017年の不動産特定共同事業法の改正により、小規模不動産特定共同事業が創設されました。

小規模不動産特定共同事業とは、不動産特定共同事業契約を締結して不動産取引を行い、当該不動産取引から生じる利益を分配する事業等を指す不動産特定共同事業のうち、原則として投資家1人当たりの出資額が100万円以内、かつ、投資家が行う出資の合計額が1億円以内のものを指します。





T-REEF Vacation House 非日常の時間と空間を鎌倉で

鎌倉のサーフボードチームT-REEF SURF BORDと6軒の空家を宿泊施設として再生し、COVID19のパンデミックまでは年間2000名以上の外国人と国際交流をしてきました。鎌倉のコミュニティーと世界を繋ぐ宿をプロデュース、空き家を再生することで自然発生的に「アルベルゴ・ディフーズ」イタリア語で「分散したホテル」が実現しました。町の中に点在している空き家をひとつの宿として活用し、町をまるごと活性化します。





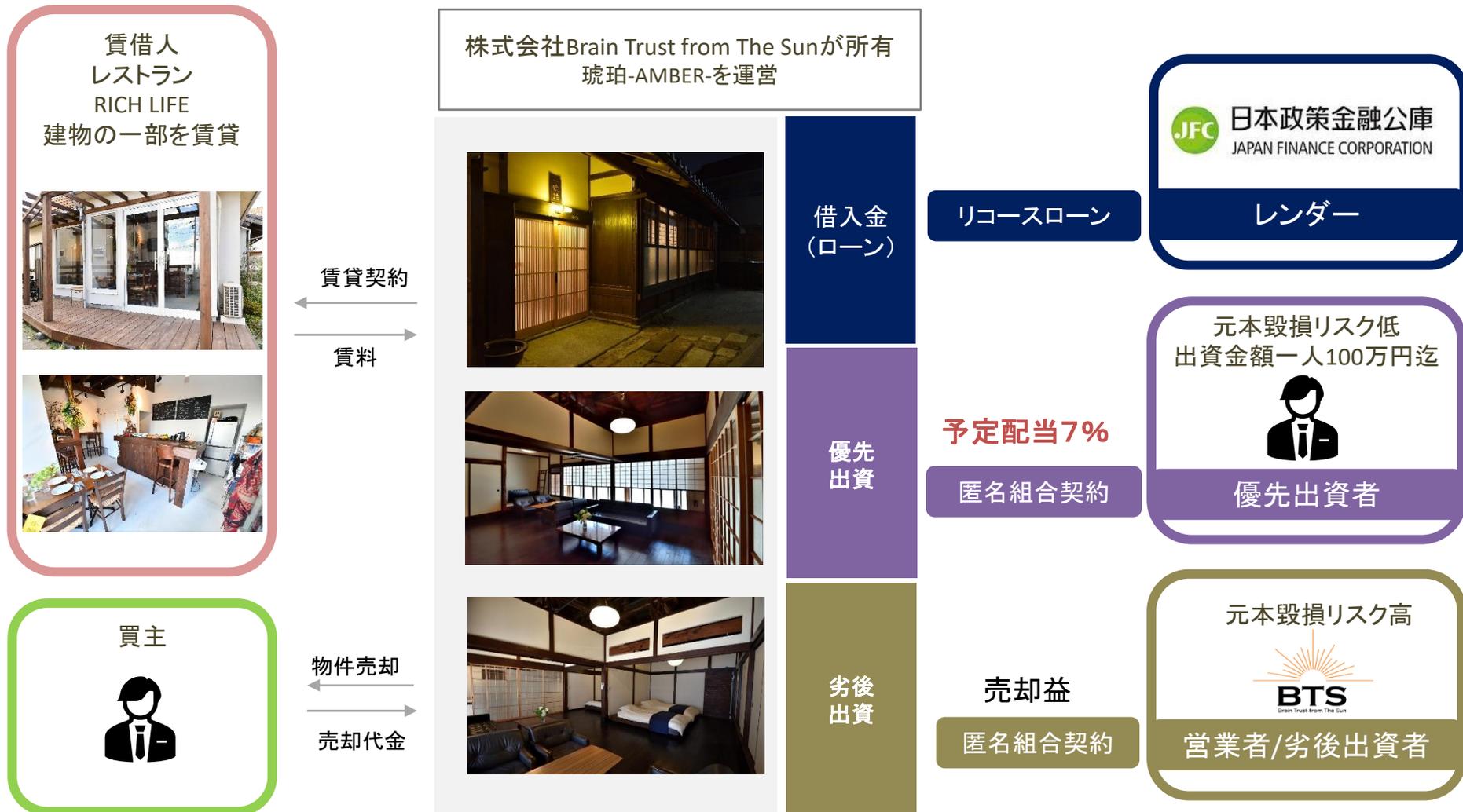
鎌倉のコミュニティーと取り組みは令和元年度農山漁村振興交付金事業として、農林水産省の助成事業となり、当社は協議会の中核法人となりました。



鎌倉農泊協議会
kamakura-nohu.com

4 古民家再生宿による小規模不動産特定共同事業一号事業(優先劣後方式)

優先劣後方式とは、売却損失をまず営業者が負担する仕組みです。売却の際、不動産価格が下がっても、その下落分をまず営業者である劣後出資者が負担し、その元本分で補填しきれない場合のみ、優先出資者の負担になります。募集金額1000万「100万円×10口」満期6ヶ月を募集。問い合わせ先 mail:info@braintrust-from-the-sun.co.jp



営業者	株式会社Bran Trust from The Sun
投資形態	商法上の匿名組合出資に基づく営業者への優先出資
契約期間	6か月(2021年10月15日から2022年4月14日まで)
計算期間	6か月(2021年10月15日から2022年4月14日まで)
予定配当率	年率7.0%(源泉徴収税は考慮しておりません。入金される際は源泉徴収税(20.42%)が引かれた金額が入金されます。予定利回りはその成果が確約されているものではありません。予定利回りはその成果を約束しているものではなく、ファンドの運用が想定通りに進んだ場合の期待値である点にご注意ください。
分配日	満期一括 2022年4月21日
営業者報酬	賃料収入の5%

募集金額	1000万円 最低成立金額1000万円を下回った場合、そのファンドは不成立となり、投資申込金額は返金します。
募集期間	2021年8月1日～2021年9月30日
最低出資金額	100万円
払込期日	2021年10月15日

代表企業(株)Brain Trust from The Sun、(株)Agri New Winds、千葉エコ・エネルギー(株)、(株)マイファーム、エコトラスト合同会社が組成する「SDGs対応農泊展開プロジェクト」が本年度の中小企業庁JAPANブランド育成支援事業に採択。地方創生の切り札として期待される農業と観光のハイブリッドモデル「農泊」。寺島実郎氏による基調講演では、全体知の視界から食と農に向き合い、「自分自身の生き方を見つめ直す一貫での位置づけ」を示唆。農業教育、営農、自然エネルギー、観光・不動産分野の実務家が「オープンイノベーション」により更なる事業発展を目指して集結。現場に根差した臨場感あるディスカッションを展開。カーボンニュートラルの実現とクライנגルテンの普及を目指す。クライנגルテン(独:Kleingarten)とは、ドイツで盛んな200年の歴史をもつ農地の賃借制度。日本語に訳すと「小さな庭」であるが、「滞在型市民農園」とも言われている。

◎ブランド開発・情報発信事業

☆国内需要 Go Toトラベルなど

ブランド開発地 茨城、千葉

・当面のWithコロナ期間では、国内向けに近隣観光地として情報発信

東国三社(神栖市、鹿島市、香取市)
水郷・小江戸情緒・神話の世界



香取神宮について
Aoyu Jinnu

ブランド確立地 浅草、鎌倉

・インバウンド向けには、鎌倉・浅草などのブランド確立地と、上記ブランド開発地とを連携させた周遊ルートなどの情報を発信する。



☆インバウンド

中国・東南アジア 欧州・英国 北米

◎SDGs対応農泊事業

共同提案5社ノウハウ・強みを出し合い、機能補完・相乗効果発揮のうえ、各社商機拡大を図る。

○農泊

観光・飲食
観て、泊まって、食して



観光
飲食

食材提供

○地産地消

野菜とREを作って、
食して、使う仕組み



販売
資金調達

発電
営農

○自産自消

クラウドファンディング・E C



出資

購入

食べたい人がお金を出し、
作る仕組み

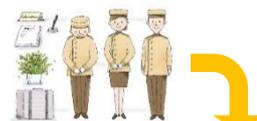
顧客

人材

◎高度人材育成事業

業
・コロナ禍により影響を受けた観光・飲食業界の人材を営農分野へ誘導し、雇用の受け皿機能も担う。

観光業界人材



農業大学校



体験農園



飲食業界人材



・飲食人材にはリモートによる語学研修も提供し、幅広い知見を身に付けた高度人材育成を図る。



5名の実業家による
パネルディスカッション

寺島実郎 基調講演

